

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2004-127737 (P2004-127737A)
 【公開日】平成 16 年 4 月 22 日 (2004.4.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-016
 【出願番号】特願 2002-290740 (P2002-290740)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 B 13/00
 C 0 1 B 31/02
 H 0 1 B 1/24
 H 0 1 G 9/058
 H 0 1 M 4/96

【F I】

H 0 1 B 13/00 Z
 C 0 1 B 31/02 1 0 1 F
 H 0 1 B 1/24 Z
 H 0 1 M 4/96 B
 H 0 1 G 9/00 3 0 1 A
 H 0 1 G 9/00 3 0 1 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 2 月 16 日 (2005.2.16)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板上の触媒粒子を核として成長させたカーボンナノチューブを、導電層を有する基材の導電層に転写することを特徴とする、カーボンナノチューブを用いた導電性材料の製造方法。

【請求項 2】

導電層が導電性接着剤層であることを特徴とする、請求項 1 記載の導電性材料の製造方法。

【請求項 3】

カーボンナノチューブを、導電層を有する基材の導電層に、その表面に対し実質上垂直方向に転写することを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の導電性材料の製造方法。

【請求項 4】

連続して行うことを特徴とする、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の導電性材料の製造方法。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の方法により得られることを特徴とする、カーボンナノチューブ導電性材料。

【請求項 6】

電極であることを特徴とする、請求項 5 記載の導電性材料。